

## ミスター・Kの英語教育ワンポイント指導ヒント

千葉県旭市教育委員会外国語教育アドバイザー

千葉大学 教育学部 学校教員養成課程

東京女子大学 現代教養学部 国際英語科 非常勤講師

加瀬 政美

### 【第16号】 小・中学校向けバージョン（小中連携編）

夏休みが終わり、元気な顔が学校に戻ってきました。まだまだ暑さは続きます。健康には十分留意しましょう。さて、今回は小学校における「文字指導」の留意点です。小学校5、6年生の2学期からは文字を書くという指導の機会が増えていくことと思います。ここで再確認です。また、中学1年生の指導をしている中学校の先生方、「小学校の先生がもっと文字指導してくれればいいのに！」なんて言わないでくださいね。小学校には、しほりがあり、指導するのはここまでなんです👉

では、小学校における「文字指導」において以下の点に留意したいです。

- (1) まず十分に音声に慣れ親しむ。文字指導を急がない。十分に言うことができないのに書かせようとしても無理が生じ、「英語って嫌い！」という子を育ててしまいます。また、ここを押さえないと、日本の英語教育を知らないALTが暴走してしまいます💢まずは、「やり取り」をしてコミュニケーションの大切さや楽しさに気づくことが大切です。
- (2) 「聞く」時間を十分に取しましょう。日本語との違いや音声の特徴に気づかせましょう。
- (3) 中学年では、読み上げられたアルファベットがどの文字なのか、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結びつける活動などを取り入れるとの効果的です。
- (4) 高学年では、「文字を見てどの文字か識別する」、「文字を見て読み方を発音する」、「4線上に正確に書く」ことの定着を目指し、またアルファベットには、「名称」と「音」があり、文字の読み方とは「名称」を指すことの理解を促します。さらに、
  - ①アルファベットを正確に大文字、小文字が書ける。
  - ②音声で十分に慣れ親しんだ後、簡単な語句や表現を書き写すことができる。  
例) I like baseball. を十分に発話できて、これを4線ノートで正確に写せる。
  - ③自分の事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。  
例) 「僕が好きなのは野球じゃなくバスケ🏀なんだけどー」なら、I like basketball. と書ければ満点なんです。そして、その後に、It's fun.なんてかけたら、花丸🌸👍です。つながりある文です😊
- (5) 小学校の指導者は、「アルファベットには名称と音があること」、「音声」と「文字」の関係が大切であること、「中学校の学習内容の前倒しではないこと」を念頭におき、

文字指導によって英語ざらいを生むことがないように気をつけたいものです。

「文字指導」は、個人差があり、予想以上に時間を費やします。慌てず！じっくりと！です。